

こむれび

第 40 号

理事長からのメッセージ

実践を通じて人間的な幅を ～故福島総合施設長の遺志を受け継ぐために～

過日の法人葬において皆様から頂いたお言葉には、故人の功績が多く挙げられていました。

一方、身近に接していた私としては、それだけではなく故人の人間的な幅、とりわけ‘コミュニケーション力の素晴らしさ’を痛感してきました。

ご利用者・ご家族様とのコミュニケーションはもとより、職員間、そして地域の皆様や関係機関とのコミュニケーションをこれからも大切にしていかなければと考えております。

気持ちの良い挨拶から始まり、気遣いやねぎらいは、故人が闘病しているさなかにあってもいささかも変わらぬことで、それが信頼関係や連携につながり、ひいては麗寿会の発展に結び付いたと言えましょう。

また、ご本人の福祉に対する深い思いから、認知症ケア、介護技術、人材育成、講演、執筆等、実に幅広く活躍してられました。私たちは少しでもその幅の広さに挑戦し、人として成長できればと心新たに決意しているところです。

理事長 大屋敷 幸志

● 小出地区地域包括支援センター わかば



小出地区地域包括支援センターわかばは、平成25年10月1日に茅ヶ崎市内9番目の地域包括支援センターとして開設致しました。

担当地域は茅ヶ崎市の北部に位置する小出地区となります。茅ヶ崎市の中でも随一の自然環境があり、人情味あふれ、高齢の方でも若々しい方がたくさんお住まいの地域です。それらの雰囲気を総合的にイメージし、「わかば」と名付けました。

地域包括支援センターには保健師・主任介護支援

専門員・社会福祉士・福祉相談員がおります。地域の皆様が抱えている福祉問題を気軽に相談できる場を目指します。また、公的機関をはじめ、地域の医療・福祉関連機関との橋渡しの役目も担っていきたいと思います。

10月1日の開所の日には地区会長さんや地域住民の方も見学に来られ、関心を持ってくださいました。住民の方や関係事業所からお花も届き、皆様の期待に応えられるよう努めていきたいと思っています。(仁木)

～多くの後継者が育って下さることを願い～
しめやかに 故 福島廣子 儀・法人葬 執り行われる



去る8月4日、当法人理事・総合施設長の福島廣子が永眠され、8月10日に個人葬、9月6日には法人葬が行われました。

会場のふれあい中央ビルには、各地より約350名の方にご来場いただきました。

葬儀委員長の大屋敷幸志理事長の挨拶に始まり、在りし日の故人の追悼ビデオ上映に続き、3名の方から心温まる弔辞を頂戴しました。

神奈川県保健福祉局高齢社会課長の小島誉寿氏からは、平成16年に施設指導担当に着任した当時から、県が主催する認知症介護実践者研修や認知症介護実践リーダー研修の指導者として尽力いただいていたことへの謝辞がありました。

追悼ビデオにも、県のモデル事業に率先して関わっていた場面が映し出されていたところですが、故人が貴重なリーダーシップを取っていたことが紹介されました。



東洋大学の野村豊子教授からは、25年来のおつきあいについてふれ、「認知症高齢者の方への回想法から始まって、家族支援、SOSネット、アドボカシー、身体拘束廃止、若年性認知症の家族および地域支援、関係機関との連携方法、スーパービジョン、コンサルテーション等」の活躍についてご紹介いただきました。

「共に行動してくれる多くの後継者が動いてくださることをあなたは見守ってくださることでしょう」との言葉は、参列者の心にしみわたったことと思います。

茅ヶ崎新北陵病院の関英雄院長からは、時代の移り代わりに即座に対応して、新しい事業を取り入れたことについてご紹介いただきました。

「癌という病にはかかりましたが、それに負けることなく、やるべきことはやり通し、積極的に生きられました。人はどう生きるべきかを身を持って示されたと思います」との心温まるお言葉がありました。

麗寿会の役員・職員一同は、これらの弔辞や多くの皆さまからの哀悼を心に留め、故人の遺志を活かした高齢者ケアの発展に、これからも寄与していく所存です。

ご参列あるいは弔電をいただきました皆様には紙面をお借りし厚く御礼申し上げますとともに、本誌をご覧いただきました皆様には今後とも麗寿会にご協力を賜りたくお願い申し上げます。（鳥羽）



福島 廣子 略歴

市役所ケースワーカーや医療ソーシャルワーカー、老人ホーム相談員を経て、平成4年7月当法人入職。茅ヶ崎看護福祉専門学校、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校、明治学院大学、東洋大学の非常勤講師等や、日本老年行動科学会理事を歴任。

著書（分担執筆）は『ソーシャルワーク入門』（有斐閣）、『Q & Aでわかる回想法ハンドブック』（中央法規）ほか多数。

ふれあいの家 みのり

4月に茅ヶ崎市内南湖に移転増設を行い、現在18名の方が共同生活をしています。

みのりでは、皆様に季節感を感じていただけるよう行事等を企画しています。また、幸いなことにボランティアや地域の関係団体の皆様にもご協力をいただきながら、地域の行事にも参加ができる環境にあります。今回は、行事の一端をご紹介します。

今後も近隣のご協力を得ながら地域に根ざした運営を行ってまいりたいと思います。(早川)



施設外観



浜降祭見学

住吉神社芸能大会

五月晴れの5月12日(日)住吉神社境内で芸能大会が開催され入居者様及び職員と参加致しました。沢山の催し物を拝見し大いに楽しませて頂きました。手拍子や掛け声などで非常に盛り上がりました。



住吉神社芸能大会



2013.5.12

ボランティア 篠笛演奏

6月12日(水) ボランティアで篠笛演奏家の阿部先生をお迎えして皆様で、篠笛演奏に沿って一緒に合唱し楽しいひと時を過ごすことが出来ました！



平塚七夕見学

7月5日

平塚の七夕を見学し、平塚総合公園内のレストランで、参加者皆様及び職員と昼食を満喫させて頂きました！



誕生会



4～6月

● ふれあいの家 こすもす

皆様こんにちは！

突然ですが、こすもすのモットー（理念）を皆様ご存知ですか？活動報告の前にちょっとだけ紹介させて下さい。こすもすのモットー（理念）は「ゆっくり」、「一緒に」、「楽しみながら」です。

これに基づき職員は、入居者・利用者の皆様が少人数のユニットの中で、入居者・利用者の皆様それぞれのペースでゆっくりと、日々生活して頂けるよう、その方中心の関わりに努めています。

また、お食事やレクリエーション、談話など他者との共有の時間に職員も一緒に参加させて頂くことで、よりコミュニケーションを深め、一体感のある和やかな雰囲気を作っています。

さらには、楽しみのある毎日を過ごして頂けるよう、四季折々の行事や催しを計画、実行させて頂いております。

それでは、こすもすの春～夏の活動を少しご紹介させて頂きます。

【グループホーム】

1階ユニットでは、小田原へ二宮金次郎の歴史を紐解きに出かけてきました。まずは、身長6尺（約182cm）にもなる銅像を見て、その大きさに皆で驚きました！記念館では偉大なるその功績を知ることでもでき、楽しい外出レクとなりました。

2階ユニットでは、平塚の花菜ガーデンへ出かけました。快晴のお天気に出発前から皆さん上機嫌でした。肝心のお花も園内沢山咲いており、初夏の風を感じな



がら食べたお弁当はまた格別の味でした♪

夏にはグループホーム全体で納涼祭を開催しました。多くのご家族様にご来場頂き、沢山の笑顔を見ることができました。皆さんでの盆踊りは大盛り上がりでした！

【認知症対応型通所介護】

こすもすは寒川町唯一の認知症対応型デイサービスです！少しでも認知症の進行を抑え、今持つ力を発揮し続け、輝きある生活を過ごして頂けるよう、その方にあった支援を日々考え、対応させて頂いております。

そのため、皆様取り組み内容や活躍の姿は異なりますが、その方のできることやりたいことを実現できるよう力を入れています。

勿論、皆様と一緒に楽しい時間を過ごして頂けるような行事やレクリエーションもご用意しています。その一部をご紹介させて頂きます。

園芸では、トマト、じゃが芋などを育てて収穫しました。カレー作りもしました♪

外出行事では、バラ園や鯉のぼり見学にも出掛け、全身で四季を感じて頂きました！

納涼祭においては、本物の竹を使った、本格そうめん流しを行いました♪

これからも利用者様にとって、楽しみのある場所であり続けられるようこすもす職員一同頑張ります！（高橋）





『掘って、掘って、また掘って』スチャラカちゃん!!

夏 祭 り

今年の夏は猛暑日の連日でしたが、暑さに負けずに夏祭りを楽しみました。

日中は施設内での各種模擬店を回り、夜は今泉町内会子供広場の盆踊りに出かけました。今年は家族会のご協力を得て、家族会特製の「うちわ」が一人一人に配られ、お祭り気分を盛り上げていただきました。また、多くのご家族の協力を頂き、入居者と共に踊りの輪に参加しました。



ギターとバイオリン演奏会

敬老会行事を楽しみました

今年も、敬老会が開催されました。

クラシック演奏会では、ギターとバイオリンの優雅な音楽に皆さんうっとりとしていたようです。今年はすてきな音楽会が盛りだくさん。

『鎌倉湖畔コーラス』、『かまくら笛吹き隊』、『かまくら五人姉妹』の皆さんに来苑して頂き楽しいひと時を過ごすことができました。

“白寿のお祝い”



内閣総理大臣からの長寿のお祝いを贈呈しました。



台風18号の影響により、鎌倉市長さんの来苑が中止にはなりましたが、家族会役員の皆様と共に敬老式典が開催されました。

国や県からのお祝いを施設長が代読し贈呈しました。皆さん神妙な面持ちでお祝い品を受け取られていました。家族会から紅白饅頭のお祝いがあり、会長より入居者代表の方へ贈呈がされ、おやつに戴きました。

式典の後には、恒例となったマジックショーやエレクtron伴奏で歌を皆さんと一緒に楽しみました。(渡辺)

ふれあいの森 デイサービスセンター

当事業所は、定員30名の通所介護です。ご利用者様中心のケアを目指し、楽しみのある生活を送って頂ける様に取り組んでいます。

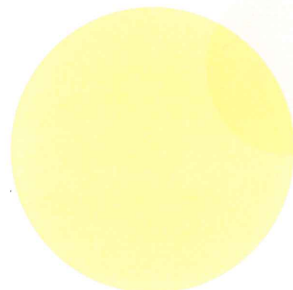
特徴としては、午後の3つの倶楽部活動です。リハちゃん倶楽部（リハビリニーズをお持ちの方向けの内容）お達者倶楽部（主に自分で歩けるけど、転ぶのが心配な方に筋トレ、ストレッチ等の体操）ハツラツ倶楽部（のんびり楽しくお話がしたい方に回想法等のお話をして過ごす）皆様各倶楽部に積極的に参加をされております。又、様々なアクティビティを用意して、ご利用者様の想いや願いに添えるように努めています。

8月には夏祭りを1週間行いました。地元の民謡舞踊サークル「なでしこの会」の皆さんにお越しいただき、民謡を披露して頂きました。定番の「炭坑節」や「東京音頭」は基より「郡上おどり」「鳴子おどり」と多彩な踊りを披露され、ご利用者様も大いに喜ばれ、一緒に踊ったり、夏を満喫されました。

「多年にわたり社会に貢献した皆様に敬愛し、長寿をお祝いする」を目的に敬老会を1週間開催しました。香川ハーモニカクラブ、湘南ドリームサウンズ、琴扇会、なでしこの会、歌謡ショー等地域のボランティアの皆さんに支えられながら、一緒に参加をしたり楽しいひとときを過ごしました。昼食は松花堂弁当、お刺身も付いて皆様大満足で召し上がりました。

ふれあいの森デイサービスは、いつまでも住み慣れた地域で生活できるように、生活支援の視点から、お仲間との交流や機能維持を出来る限り行い、楽しみや生きがいのある生活が送れる様に努めます。

今後とも、ご支援の程宜しくお願い致します。（石黒）





今年、5月に新しいセンター長となり、新体制で出発しました。茅ヶ崎駅から歩いて5分の街中にある通所介護施設で、市のコミュニティーセンターと併設し、地域住民と多くのボランティアの方々に支えられ運営されています。

8月には、夏祭りを実施し、昔ながらのお祭り気分を楽しんでいただこうと、夜店の射的、ヨーヨー釣り、輪投げ、紙芝居などのコーナーをスタッフと共に回りながら和気藹々と楽しみました。宮太鼓の「どどんがどん」というリズムにのって「東京音頭」「炭坑節」の盆踊りで花を咲かせました。ご利用者の方々にも大きな宮太鼓を叩いていただき、そのリズムと音の迫力を楽しんでいただきました。

9月は、敬老会を実施し、日ごろはいろいろな特技を持ったボランティアの方々に演奏や踊りをしていただいておりますが、このときばかりは、介護スタッフの持ち味を活かし、特技や練習を重ねて、ウクレレ漫談、ハーモニカ演奏、ピアノ演奏、民話の語りなど手作りの催しで敬老の気持ちを表しました。その日に参加されたご利用者で最高齢の方々に「長生きの秘訣」を伺ったところ皆さん、好き嫌いなく何でも食べること、くよくよしないこと、悩まないこととおっしゃっていました。

これからも、地域に愛され、生きがいをもって地域・家族と共に生活していけるデイサービスを目指し、スタッフ一同努力してまいります。(小飯塚)

H25.6.1 事務長として着任しました。

編集後記

着任以来、いろいろなできごとが重なり無我夢中で過ごして参りました。

大きな指導者を失った寂しさはありますが、幸いにも麗寿会には、豊富な知識・経験をもつリーダー、職種間の連携、よきものを後輩たちに伝える伝統、そして利用者様の安らぎを願う優しい心がしっかりと根付いています。

それを力に、未熟ながら将来を見据えた運営に共に携わっていきたいと考えています。

私の好きな言葉に、「一隅を照らす(最澄)」があります。

～家庭や職場など、自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことで、社会全体が明るく照らされていくという考え方です。

自分が光り輝くことで、自分のそばにいる人も光り輝いていくものです。

職員一同改めて我々の使命を自覚し、今まで以上にご利用者様・ご家族様・地域にお住まいの方々に対し、より一層「質の高いサービス」を心がけて参ります。

一人でも多くの方々に、麗寿会を応援して頂ければ有難い限りです。

法人事務長 鳥羽 芳弘